

令和5年度盛岡第二高等学校第1回学校運営協議会 議事録

令和5年6月29日(木)

15:20～16:50

場所:盛岡二高 会議室

進行:副校長 記録:総務課

○出席者 学校運営協議会委員 7名
学校職員 9名

○日程 14:30 受付 14:40:校舎見学 15:20:学校運営協議会(～16:50)

(1) 開会の言葉 (進行:副校長)

(2) 校長挨拶 (校長)

今年度より、学校評議員制度からコミュニティー・スクール(学校運営協議会)に移行することとした。

新年度になりまもなく3ヶ月、コロナ禍もようやく落ち着きを見せ、いつも通りの学校生活が戻りつつある。高総体では、卓球部、なぎなた部、体操部がインターハイへの出場権を獲得し、鹿児島で行われる全国高総体祭には、日本音楽、書道、放送が岩手の代表として出場することになっている。

本校は変化の激しいこれからの時代を力強く生きていける生徒の育成、そして、地域から愛され、「生徒一人ひとりが輝く、活力ある学校」を目指している。皆様方から忌憚のない御意見をいただきたい。

(3) 承認事項

ア 令和5年度学校経営計画(校長)

- 1 校訓・教育目標 『白梅精神』—「進取」「清楚」「強健」—
心身共に健康で、情操豊かな人間の育成
- 2 スクール・ポリシー
- 3 魅力化協働パートナー
- 4 目指す学校像

今年度の重点目標

ア 授業の充実と基礎学力の定着を図る

イ キャリア教育の充実により、進路希望の実現を図る

ウ バランスのとれた教育活動を実践し、主体性と協調性の育成を図る

エ 学校いじめ対策組織の取組を中核としたいじめの未然防止を図る

オ 地域とともに歩む学校として、開かれた学校づくりを推進する

- ・社会で輝く女性の育成も本校の使命。今年度、様々な「美」を探究する魅力化推進プロジェクトを立ち上げ、多くの講座を計画している。社会で活躍できる女性を数多く輩出できるよう教育活動を展開したい。

委員:スクール・ポリシーの「(4) ICT を有効活用した教育を実践する」に関連して、授業において端末はどの程度使用されているかお聞きしたい。

教務課:日常的に使用するところまではできていないのが現状。

校長:有効活用できるよう今後進めていきたい。

(4) 学校概況説明

ア 令和5年度重点目標（各課主任）

【総務課】

- 1 庶務・行事等の諸活動を円滑に運営する。
 - ・行事については、コロナ禍以前に戻す形で進めているが、簡略化できるものは簡略化し、残すものは残すなど、行事の精選を図りたい。
- 2 P T A（白梅振興会）活動の活性化を図る。
 - ・P T A活動についてもより活発に進めたい。会計については支出が増えることが予想されるので慎重に対応したい。今後、130周年事業の検討に入りたい。

【教務課】

- 1 生徒の学力向上
 - ・具体的目標は、次の4つ。
 - 授業の集中力を高める
 - 家庭学習習慣を身に付けさせる
 - きめ細かい教科指導を図る
 - 部顧問による学力向上及び家庭学習の支援強化を図る
- 2 教員の授業改善の推進
 - ・授業改善を図るため互見授業を実施。教員のICT活用はだいぶ進んでいる。今後は生徒の使用を広げていきたい。

【生徒指導課】

具体的目標

- 1 生徒規律の確立
 - ・問題行動は少ない。学年が上がるにつれて落ち着いている。
- 2 生徒会活動・部活動
 - ・行事は以前のように実施の方向で進めている。体育祭をコロナ禍前に戻して実施。今後、合唱コンクール、文化祭も予定している。
- 3 安全指導
 - ・登校時、下校時の自転車事故に注意。

【進路指導課】

具体的目標

- 1 各種講演会等の充実
 - ・小論文講演会、大学進学オンラインイベントへの参加、社会人講師とのトークンセッションなどを実施している。
- 2 進路指導の充実
 - ・「総合的な探究の時間」については学年ごとに実施しているが、学校推薦型選抜での進学にも対応できるよう、今後、体系化していきたい。

【保健厚生課】

具体的目標

- 1 健康管理および保健指導の徹底
 - ・学年ごとに外部講師による各種健康教室を実施している。
- 2 保健衛生および安全管理指導の徹底
 - ・生徒が安全・安心に生活できる環境作りに取り組んでいる。

【質問・意見】

- 委員：生徒の多様性に対応するために生徒から制服を変えてほしいという要望は出ているか。制服を変えることについて同窓生の意見もお聞きしたい。

生徒指導課：生徒の意見箱に、制服を変えてほしいという意見が入っていた。制服を変えるには約3年はかかる。ソックスなどの規定は生徒からの意見でその都度検討している。

委員：個人的には制服にはこだわっていない。時代に合ったものを検討してほしい。130周年を迎える年に大きく変えてもいいのではないか。

委員：暑さ寒さにも対応できるように、オプションとしてポロシャツやスラックスの検討をしてはどうか。

生徒指導課：ポロシャツについては、来年度からの着用に向けて製作を進めている。

冬、寒いときにはパーカーやセーターなどの着用を認めている。

委員：同窓生の集まりで二高の制服は一度もデザインが変わっていないと話題になることがある。県内外の多くの同窓生が街で活動している二高生に気づき目をかけてくれる場面があった。同窓生に応援してもらっていることに在校生が気づき、意識するのは良いことではないか。

委員：LGBT理解促進の理解を図ることが義務付けられている中、制服についても選択肢を増やしていくのが今後の流れではないか。

(5) 意見交換

委員：これまで多くの優秀な卒業生を輩出してきているが、同窓生の講演会、職業の講話、卒業生との交流の場はあるか。大学進学が目標ではなく、何を自分の職業としていくかが大切。二高生が社会で活躍できるようにサポートしてほしい。

副校長：今年度夏に1年生を対象として3日間、美に特化した講座を実施する。卒業生の方に講師を依頼している。

委員：多方面で活躍している卒業生がいる。もっとHPで卒業生の活躍をアピールしてほしい。高校時代は非常に大切な3年間だった。生徒の気持ちに寄り添い、卒業までご指導をお願いしたい。

委員：資料を事前に読ませていただき、色々な取り組みをされていることが分かった。教務課の「部顧問による学習向上及び家庭学習の支援強化を図る」というのはとても良いこと。担任だけではなくいろいろな先生方とかかわりを持つこと、信頼できる先生がいれば、3年間目標をもって高校生活を送れる。95%が部活動加入していることに驚いた。先生方が楽しそうにしていれば、教員を目指す生徒が増えるのではないか。

委員：毎年多くの中学生がお世話になっている。中学生にも二高の良さを伝えていきたい。制服については、伝統の重さと時代を考えながら進めていただきたい。

委員：岩手県は人口減少対策が喫緊の課題。若い女性が進学就職で首都圏に出ていく状況。進学は首都圏でも就職で県内に戻ってくるようにしていきたい。ご協力をお願いしたい。

委員：二高は心を育む、人を育むという点で素晴らしい学校。先輩から受け継がれている。形だけではなく、なぜかということも教えていただきたい。今回、美・プロジェクトで取り組む内容は、保護者にとっても期待できるもの。美について形にして発信することは素晴らしいこと。様々なことに柔軟に対応できる人間性も育まれれば、二高の魅力につながるのではないか。

委員：看護学校に進学している生徒が多く驚いた。いろいろな職業選択肢を見せてほしい。卒業の時に二高に入って良かったと言えるように、先生方にはご指導をお願いしたい。

(6) 閉会